

## 平成27年度 第1回「ともに考えよう まちづくりミーティング」

平成27年7月4日（土）18時30分～

金沢元町福祉健康センター 2階

小坂、千坂、夕日寺（校下）

### (1) 市長あいさつ

#### 【山野金沢市長】

皆さん、こんばんは。

本日は土曜日の夕方という時間にもかかわらず、たくさんの方にお集まりいただきましてありがとうございます。

今ほど広報広聴課課長から話がありましたように、「ともに考えよう」という表題をあえてつけさせていただきました。

私は市長になって5年目ですが、ここは4年前もお話しさせていただいたかと思えます。そのとき出席して覚えている方もいらっしゃるかと思いますが、市長、両副市長、局長、議会と同じメンバーが並んで、対面形式で地域の皆さんがいらっしゃるという形でしていました。そこで、もっと意見が出やすい環境にするために、いろんな方と議論を重ねながら今の形にしましたが、今後も皆さんのご意見をいただきながら、少しでも地域の皆さんが発言しやすい空気、環境をつくっていかれると思います。

事前に町会連合会の会長さんを通して地域の課題をいただいています。それでやりとりさせていただいた後、討議の時間を少しとってありますので、いろんなご意見をおっしゃってください。地域できちんとまとめた意見ではないものでも結構です。すぐお答えができるものもあると思いますし、すぐに答えができなくて、宿題として我々が持って帰って、市役所の中で一度打ち合わせをしなくちゃいけないものもあるかもしれません。もしかしら、皆さんからすれば必ずしも満足できない、納得できないものもあるかもしれません。でも、そうやって一緒に議論をしていくことが大切なことだと思いますし、そこで課題が見つかったら、その課題を皆さんと一緒に解決するべく取り組んでいくことも大切だと思っています。そういう時間を設けさせていただきますので、いろんな形でご意見をいただければと思います。

本日はいろいろとお世話になりますけれども、どうぞ、よろしく願いいたします。

## (2) 地域代表あいさつ

【小坂校下町会連合会 会長 松本 明 氏】

今ほどご挨拶申し上げました小坂校下町会連合会会長の松本です。

前回、私もこの場に来たことは覚えていますが、一体どういう話だったかは思い出せません。ただ、前は先ほど市長がおっしゃったように、教室の講義スタイルということでした。今回、こういう配置が成されていて、びっくりしましたし、局長、部長の皆さま方が間に入っているということは、大変話しやすいのではないかと思います。

さて、小坂、夕日寺、千坂地区は昔の小坂村ということで、今も毎年の戦没者慰霊祭は3地区合同で持ち回りをして行っているという、その名残がございます。

夕日寺につきましては、世帯数1,620。東長江インターから夕日寺小学校の間ぐらいが8、9割方の世帯を占めており、あとは山合いに集落が存在するという状況でございます。

千坂につきましては、国道8号線を挟んで佐川急便あたりの手前ぐらいまで、非常に範囲が広く、2,893世帯があります。今、海側環状道路の工事が進められており、これが開通すると、また様子が変わってくるのではないかと考えています。

そして、私どもの小坂は疋田上荒屋線が全線開通したために非常に車の通りが激しくなっており、最初の区画整理の段階では、組合が1,000人の居住ということを目指していました。まだまだ空き地が多いようで、今後、世帯が増えて、小学校で「教室が足りなくなる」ということを気にしていらっしゃいます。

今日は、皆さま方からいろんな課題を提供していただいて、市の関係局長、部長にもお話をいただくことになっておりますので、よろしく願いいたします。

ありがとうございました。

## (3) 地域課題の説明、課題に対する市の方針等の説明、討議

### ①がけ地対策について（小坂）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【小坂校下町会連合会】

今ほどの住民に知らせる設備は、小坂校下は小学校にあるだけと思います。その他に、奥の山側バイパスの下のところが全然聞こえないことがあるのですが、その奥まで知らせ

るために設備を増設するとか、何か方法はありますか。

**【林危機管理監】**

具体的にお教えいただければ、現地に出向いてきます。先ほど言いましたように、同報防災無線につきましては、一斉に小学校の屋上等から出しますが、どうしても地形的に聞こえにくいということで、調整に伺ったりもしていますし、具体的な場所を教えていただければ、また調整に参りたいと思います。ただ、全て聞こえるかどうかは非常に困難ですが、どんな地形なのかをまず現地で細かく調査させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

**【小坂校下町会連合会】**

林さんのほうへ行けばよろしいですか？

**【林危機管理監】**

そうですね。危機管理課にお知らせください。

**【小坂校下町会連合会】**

私の町会は大変土砂災害防止法の危険個所の指定の箇所が多いです。崖と土石流を含めると240世帯中130世帯ほどがその危険個所に入っています。

それで、局長からもお話があったとおり、崖崩れは要望書を3年前に市長のところにお邪魔して出させていただきまして、あとは県で事業化になりそうな雰囲気だということを知っています。

その中で、崖の対策工事について、危険箇所に指定されている部分と普通の崖の工事の補助が一緒です。危険箇所に指定されたら、補助がもっと手厚くならないのでしょうか。

危険箇所に指定されると、県の説明では否定していますが、不動産の価値がほとんどゼロになってしまいます。何か理由があって売りたいとき、売り出しても誰も買ってくれない。ということはほとんど不動産価値がなくなっているという状況です。それで、私も市に問い合わせしたところ、資産税課ではそれを加味して固定資産税が多少安くなっている、とのことでした。そんな問題もある中で、危険箇所に指定していただいて、お知らせしていただくのは大変ありがたいことですが、今のところ指定されても何もいいことがな

い、悪いことばかりだという認識が非常に強いです。その辺りのご意見を聞かせていただければと思います。

**【浅川土木局長】**

税金のことは私がお答えすることはできないのですが、崖地の工事については、基本イエローとレッドの指定箇所は地元の負担もいただきながら国、県の補助事業であったり、県と市での負担の事業であったり、市単独の補助事業であったりという、そんな格好になります。一方で、イエロー、レッドの指定がない箇所については、基本的に、地権者の方、地元の方に市が工事費を補助するという仕組みになります。なので、指定のない箇所は、どうしても市が直接、県が直接施工という仕組みは今のところはなく、イエロー、レッドの指定箇所は地元のご負担もいただきながら、条件に応じて県、市が施工する。そんな形になっているということをご理解いただきたいと思います。

②地方創生 農業振興地域から都市化へ（農業生産に限界を感じている田んぼはしたくない）そんな声にどう応えるか（千坂）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

**【千坂校下町会連合会】**

優良農地というお話がありましたが、千坂校下の農地は多分昭和30年前後の耕地整理だけであり、いわゆる土地改良をやっていません。したがって、農地の面積は多分250坪から大きくて一反部かと思います。

水の話ですが、水が浸くことがあり、いざ農業に必要な水というのは非常に不便で農道も広くないです。

それから、国道、高速道路や長年懸案であった海側環状道路ができて、非常に交通の便もよくなっていることは私どもにはありがたい話なのですが、一方で、交通網が良くなることと農業のつくりやすさは相反するのではないかと思います。そういう意味で果たして優良農地に適しているのかという疑問も若干ございます。

**【村本農林局長】**

私も千坂、千田で米を作っています。ですから、現状はよくわかるのですが、今、農業のやり方も少しずつ変わってきていまして、千木や福久は、作り手が少なくなっているけれども優良農地だと思います。先ほど申し上げた農業の法人化とか集落営農があります。たまたま去年は米が1俵1万円弱ということで赤字かトントンですが、平成24年と平成25年は黒字になりました。ただ、今後はTPPの影響でどうなるか、という不透明な面もございいます。

そんな中で、石川農業総合支援機構というのがありまして、農業が続けられない方はそちらへ農地を貸していただく。そして、新しい担い手の方を探してその方に作っていただく、ということをして市と県が共同で実施しています。

その中の一つとして、金沢市が農業大学校というのを実施しています。農業大学校の修了生が農地を求めていくと、中山間地で耕作放棄をしたところがある、という話もありますので、農業大学校の生徒が使えるかどうかを市の農業センターや農林部局の中で研究をしています。

それから、JAさんとも研究をしまして、JAさんも一筆飛び飛びだと難しいが、地域でまとまって皆さんが石川農業支援機構などに農地を提供していただけると、農協さんも市も、大学生や農業をしたい方と相談をしながら耕作放棄地にならないように協議をしていきたいと思っています。

現在、兼業農家は大変厳しいのですが、専業農家になると、30ヘクタールぐらいあると何とか農業をやっていけそうというのが県の試算でございいます。これもやってみないとわからない部分もありますが、せっきくの農地なので、まず県や市の農業委員会とも相談をさせていただいて、何か農地を残せる方法を考えたいと思います。

それと、大変失礼な言い方ですけれども、千田は取れないのですが、福久とか千木、横枕とか、昔の金市、千坂小学校の近辺はレンコン畑でした。今ものすごく高値が付くレンコンを作りたい、という若い方が結構いますので、もし農地を貸していただければ、農協さんともまた協議をしたいと思っていますので、ご協力をお願いいたします。

#### 【千坂校下町会連合会】

私は農業をやめました。さっきから聞いていると、利益率がいいという話が多い。ルビーロマンとか小坂レンコンとか。それは神子原米と一緒にその地域だけしかできな

い。それまでに我々は幾つ年をとればいいのか。即決していただきたいとは言わないけれども、今、自分らが10年たったら、すごく逼迫した状態だと思います。それに対して、大学がどうか、農業者を養成するとか。それで採算がとれるという前提でやっているのかということを知りたいのですが。

#### 【村本農林局長】

今までの例を見ますと、採算はとれるという試算が出ています。ですから、レンコンだと植えてから3年ほどで収穫できるので、面積が30ヘクタールほどあれば採算がとれる。現実に今、河北潟などは、レンコンで採算がとれていますし、もっと地域の皆さんが話し合えば、例えば農家レストランへみんなで品物を出して高く買ってもらうとか、PRのやり方によってはそのレストランが繁盛することによって収穫物の値段が上がることもあると思います。全国的には成功した事例もあります。じゃあ、ここで成功するのかというのはわかりませんが、それも含めて研究をしているところでございます。1年や2年ではなかなか答えは出ないと思います。

#### 【千坂校下町会連合会】

今のお二人の回答者、大変立派な役所的な回答しかしていません。質問者が提案したことについて、今、そういう現状を切実に訴えているのです。だから、先ほど提案者が言いましたように、いろんな企業が用地買収に来ているわけです。石川県、金沢市が汗水垂らして施工をして、立派な海側環線が開通しても、その横にミニ開発、ミニ開発と虫食いのようにされたらダメなんです。だからこそ、今、その市街化調整区域を外す努力を市で、行政でしっかりとやってくださいという話を結論としているわけです。だから、私も先般の市長との千坂公民館での会議の中でも、何か良いもの、大きなものを北部にお願いできないかと。ハコモノでなくてもいいですよ、とお願いしていたわけなのですが。そういう面も含めながら市に、これから企業が来た場合、地元も一生懸命になりますから調整区域を外す努力をしてくださいとお願いしていたわけです。今、回答は要りません。皆さんにご報告だけ申し上げておきます。

#### 【千坂校下町会連合会】

私は農家でもないし、企業関係でもないのですが、千坂の町会連合会が今年50周年を迎

えるので、千坂の産業構造について、ここ1年ほど前からいろいろ調べていました。実際、農業のあり方も、1970年と2010年の40年間を比較して、どのように農家が、あるいは農業用地が衰退しているのか、というデータも金沢市からいただいて検証しました。

それから、農業だけでなく、企業や事業所も非常に発展している地域はありますが、全体において千坂の校下は非常に衰退しています。なぜかと言うと、やはり人が集まらない。いくら自動車の交通網やアクセスが良くなったといっても、人や若者が集まらない、そういう状況です。

市街化区域を外して、せっかくいろんな企業が千坂校下に出てきて、若者も一緒に仕事に従事して活力ある地域にしていきたい、というのが私どもの偽らざる実情です。

比較すると、杜の里地区は金沢大学が来て、金沢学院大学が来て、そして、山側環状線沿いがものすごく開発されました。私は正直申しまして、金沢市は非常に南部を優遇して北部は放ったらかしだ、と思っています。これは多分、北部の皆さんは同じ感覚ではないかと思っています。この何十年の経緯を見ても、南部、あるいは西南部から比べてこの北部地区は見捨てられている地区だと思います。

実際に若者でまちづくりをして活性化しましょうというのも、杜の里地区の大学生を使ったり、あるいは若者がイベントをしたり、小さな企業を起こしたり、この前も金沢市に対してのプレゼンテーションを聞かせていただきましたが、非常に南部地区が活性化しています。そういう面で、北部地区は活性化する土壌がないことが私は非常に不満です。今、金沢市の皆様方からいろんなお話がありました。確かに緑の豊富な地域は、やすらぎのためには必要でしょう。私どもは緑ももちろんですが、活性化した地区が欲しいのです。それが現実です。

#### 【千坂校下町会連合会】

私は農業で2ヘクタール耕作しており、請負も少ししていますが、昨年の収入が、米の収入だけで180万円ほどしかありません。これに減価償却や肥料代等を全部合わせて230万円です。私は180日ほど農業に携わっていましたが、無料で農業をしているという現状です。ですから、農業は今、割に合わないということです。大規模でやればいいと言いますが、果たして大規模でやっても採算が合うのか。委託している人は、お金を払って耕作してもらわなければならないという現状です。

### ③獣害対策について（夕日寺）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、  
レジュメを参考願います。

#### 【夕日寺校下町会連合会】

先日、猟友会の会合で有害鳥獣の班がありまして、それに出席しました。その中で、イノシシ・シカ等の大きい動物は通年捕獲してもいいが、ハクビシン・タヌキ・アライグマ等の小動物は、金沢の安原地区だけに、金沢市農協の組合長名義で申請して市長から通年施行の許可が出ているそうです。これを金沢市全体に許可できないのでしょうか。

私のところも昨日ハクビシンが来て、トマトを食べられました。10センチ四方の穴があれば、ハクビシンは入ってきます。

ハクビシンは、ネズミと同様に、建物の天井裏に巣を作って住んでいるらしく、これらを狩猟期間中の11月から3月中だけ捕まえていい、というのではなく、通年で捕まえていい、という許可は出ないのですか。

それともう一つ、イノシシの捕獲について報奨金が金沢市から出ます。これは檻の管理者に対して捕獲時に出るものですが、檻の所有者に対して報奨金は出ないのでしょうか。

私は去年7月に狩猟免許を取得したのですが、その檻の管理者になるには、今年の4月1日でないとなれないため、他の町会の人をお願いして、名義上の管理者になっていただいた。その名義上の管理者は、何もしなくてもお金をもらえる。この前も班の寄り合いに行ったら、管理者だけ余計に手当がもらえている、と聞きました。捕まえた本人にも手当がもらえるような良い方法はないのでしょうか。

#### 【宮本総務局長】

総務局長の宮本です。昨年度まで環境局長を勤めていましたので、把握している範囲でお答えいたします。

ハクビシン等の捕獲許可ですが、安原地区では通年ですが、今、実際に被害の実態があったことを調査していただいた上で、市の環境政策課へ捕獲許可の申請をしていただければ許可を出すことになっていますので、その際は環境政策課にご相談をしていただければと思います。



【夕日寺校下町会連合会】

わかりました。

【村本農林局長】

捕獲の報奨金ですが、市で現状を確認して、検討いたしますのでよろしく申し上げます。

【千坂校下町会連合会】

農林局長はよくご存じかと思いますが、北海道のエゾジカが大変増えています。ラジオで聞いた話ですが、シカを捕獲するための施策を大学教授の皆さんが考えて、そのシカを市場に流通させる仕組みを北海道で作っているそうです。エゾジカが増えても、捕獲する人がいないから、大学の学生に狩猟の資格を取らせて、解体する技術も教えて、大学の先生自体が一生懸命頑張っていて、その肉を市場に乗せるということをしているらしいです。

ヨーロッパではシカやイノシシの肉を食べることが当たり前の風習なので、獣肉が市場に出回る仕組み、システムができています。日本では獣肉を食べる風習があまりなく、そういうシステムもないが、今の日本でもイノシシやシカが非常に増えているから、そのシステムを作らなければいけない、とその大学の先生は言っていました。また、石川県知事さんもイノシシの肉をPRしているところが新聞に載っていたので、市でも研究されてその仕組みづくりをしていただければと思います。

(4) 共通課題について討議

① 共通課題「若い世代の定住促進」(小坂、千坂)

「共通課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願います。

【山野金沢市長】

私からも少しお答えさせていただきます。

まずは仕事の話ですが、僕は東京の大学に行って、東京で勤めていました。正確に言えば、勤め出した頃は小さな会社でしたが、辞める頃は大企業になっていた会社です。ですから、金沢に戻ってくるはずはありませんでした。僕は極めて家庭の事情だけで戻ってきました。でも、家庭の事情だけで金沢に戻ってきて、今市長の仕事をしています。実は、

金沢のエリアもう少し広めてもいいかもしれない。金沢、富山等、この北陸ではいろんな企業がたくさんある。でも、僕は東京の大学に行く時に金沢に戻ってきて就職するという発想は全くなかった。僕の親も、「こいつは東京に行ったらもう絶対戻ってこない」と思っていました。なぜかという、金沢や北陸にどんな会社があって、どんなことができるのか、自分の能力をどのように発揮できるか、全然知らなかった。親も調べようとしなかった。親は子供に対して関心はあるのですが、北陸の企業に関心がなかった。でも、北陸に企業はたくさんある。

だからこそ、今、労働政策課長が話したように、学生にも伝えると同時に、大学、親を通して情報を伝えることもすごく大事だと思っています。金沢がしっかりすることによって、生意気かもしれませんが、僕は石川県全体、北陸全体が元気になっていくと思います。これから東京や大阪、京都の大学に行く人もいると思いますが、そんな方たちにもしっかりと情報を伝えて、いつかは金沢で、いつかは北陸で能力を発揮してほしい、そういう情報をきちんと伝えていくことが必要だと思っていますので、これからはしっかりとやっていきたいと思っています。

で、先ほどお話がありましたざっくばらんな雰囲気の中でお母さん方とも、会長ともお話をしました。そのときに図書館の話もお聞きをして、よく覚えています。会長がおっしゃいましたように、金沢に住もうと思ってもらうためにはいろんな条件はありますが、やっぱり、これはお年を召した方もご理解いただけると思いますけれども、子供を産み育てやすい環境を作っていくのは子育ての年齢の方だけじゃなくて、さらに先輩の方たちも同じ思いを持っていただけたらと思っています。そういう意味では、子供を産み育てやすい環境を作るのはすごく大事です。歴史、伝統、文化はもちろん金沢の魅力、金沢の個性ですから大切なことですが、教育や医療、さらにはスポーツ環境も含めてすごく大切なことだと思っています。私は市長になって5年ですが、そのことには格段に意を用いて取り組んできたという自負もありますし、これからはその思いでやっていかなくちゃいけないという思いがあります。

図書館ですが、今、金沢市には御案内のとおり玉川があって、泉野があって海みらいがあって、玉川にはこども図書館もあります。細かいことを言えば、平和町の児童図書館もあって、城北児童館の中にも図書館がある。もちろん、エリア的に言えば、北部は城北があるとはいえども、もっと本格的なものが、という思いはあると思っています。ただ、金沢市全体の中で今見ていく限りにおいては蔵書の数だとか、いろんな環境を考えると新し

い図書館をさらに金沢市営として作ることは厳しいハードルがあるなという思いがあります。ただ、今、こういう場面で意見交換をさせていただいて、地域のご意見をお聞きするのは大切なことであると思いますし、先ほど北部には金沢市冷たいのではないかというご意見もありました。決してそんなわけではないのですが、いろんな金沢のまちを作っていく中で、全体で考えていく中でいろんな選択肢が出てくるかと思しますので、今現在、ここで「はい、わかりました。」という返事はなかなか難しいのですが、皆さんのご意見はしっかりとお聞きしたいと思ひますし、6名の議員の先生方もお聞きしていますので、しっかりと受けとめて、これからまたまちづくりに頑張っていきたいと思ひます。良い返事ができなくて申し訳ないのですが、ご理解ください。

## ②共通課題「若い世代の定住促進」(夕日寺)

「共通課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参考願ひます。

### 【千坂校下町会連合会】

私どもの町会は260世帯が持ち家の世帯です。そして、100世帯ほどがアパートの入居の方です。実際にアパートの方には町会の活動の報告はほとんどしていません。今年の夏を一つの基準としてアパートの方に、住民票など、防災の危機管理をするための一つの情報をいただきたいということで、この前から役員の方に、任意ですが、お願ひをする。アパートの方もそういう気持ちで接すると、理解していただひて、情報をいただける。

若い方がアパートに入っていて、赤ちゃんが生まれたという話を聞きました。私どもの町会は空き家が結構目立つようになっています。今の少子高齢化の波がありまして、0歳から5歳までの未就学の子供たちが全部で17~18人しかいません。今、小学生が45名です。そうすると、あと6年たったら子供会ができない状況になる。ですから、何とか若いお母さん方に、アパートじゃなくて空き家に入っただかく。アパートは部屋の制限がありますが、空き家の場合は2階もあるし、1階も結構広いです。それぞれ60坪ぐらいの敷地で建物が建っているのて、子供さんにも非常にいいのではないかと、思っています。

ただ、簡単にアパート住まいの方に、持ち家に入ったらどうですかと言うわけにもいきませんが、そこにプラスアルファの家賃を補助する制度があれば、アパートという感覚で持ち家制度を利用させてもらえれば大変ありがたいのですが、金沢市でそういうことは考

えていないかをお聞きしたいと思います。

**【野口都市整備局長】**

若い世帯の方が最初アパートに入られるというのは現実かなと思います。なかなか新築なり中古なりの住居を取得するのは難しいと思いますが、そういう方のために、まずはアパートの延長で空き家に入っていただけるような仕組みも、確かに空き家の利活用という面では一つの考えであると感じています。

家賃の補助制度については、それが「若い世代の定住促進」につながることも含めて、研究させていただきたいと思います。今年度の空き家の利活用、空き家対策も検討の範囲と認識していますので、ご理解ください。

**【山野金沢市長】**

特に、若い人がせつかくいますので。育友会関係の人が。

**【小坂校下町会連合会】**

私の町会も240世帯あるんですが、そのうち子供が47名。今年の小学校入学が2名、この先ずっと1名、2名、多分、ゼロということが出てくると思います。私の町内は団地で、昭和40年に造成されて入居が始まって、ほぼ全戸入っている状態なのですが、このままだと、私の町会も子供会は6年後ぐらいにはいなくなる。ただ、私の町会是小坂校下の中ではまだ子供が多いほうです。その町内でもそのような状況になっているので、子供を増やすには何が必要かという、若い人を町内に住ませないといけない。ただ、私の団地の中は全部埋まっていて、空き家もない状態です。そこに人を入れることは不可能なので、できれば2世帯の住宅を建てるときの補助制度を考えていただきたいです。そういう方法しか若者を私の町内に呼ぶことはできません。

ちなみに、去年、私の息子が結婚して2世帯同居の住宅にリフォームしました。そのときに補助制度があったらありがたかったな、と思ったので話をしました。

**【野口都市整備局長】**

子育てのために2世帯というのはおじいちゃん、おばあちゃんに見ただけということで、非常に有効かなということも私ども感じています。

現状では、まちなかにおいては、2世帯住宅に少し加算するという、一部分の支援制度はありますが、子育てという観点で2世帯、多世帯の住宅に対して何らかの支援というのは、本市では現状で持っていません。しかし、住宅政策だけでなく、子育ての観点で何かできないのかを研究させていただきたいと思います。

【小坂校下町会連合会】

私の子供が結婚して同居を金沢市内で、旧市街で始めますが、古い家を買って、増改して住みやすくしたい旨を不動産屋に話しましたが、中古住宅を増改するとき、補助金をもらうときは耐震化を図らないといけないので、結構ハードルが高いです。若い人が耐震化を図るとすれば、水回りや増改の工事で200～400万円という金額がかかります。それに耐震化を図ると600～700万円と膨らんでしまう。新しい中古住宅を買ったため、それ以上投資できなくて、住める程度に増改したというのが現実です。必ず耐震化を図らないと補助金が出ないのは、若い世代には少し厳しいと思います。

【野口都市整備局長】

まちなかの中古住宅について、先ほど言いました、まちなか住宅再生バンクに登録したもののについては改修費に補助することになっています。その中で、今ほどのお話のとおり、昭和56年の5月以前に建てられた建物については、耐震性が旧基準なので、耐震診断も含めて改修することを条件としています。安全安心に住まいを設けていただくという趣旨がありますので、ご理解いただきたい部分ではありますが、中古の住宅でも地震についての備えが非常に大事ということで、そのようにさせていただいています。

(5) 質疑応答

【小坂校下町会連合会】

開かれた庁舎、市役所という意味でご提案させていただきますが、市役所の屋上を市民に開放できないか。守衛さんに、屋上へ上らせてほしいと言ったらお断りされたのですが、しいのき迎賓館や金沢城の石垣の眺望は金沢の財産だと思います。県庁の19階をイメージしていただくとわかるように、用もないのに市役所へ、というキャッチフレーズもあってもいいかなと思うので、ぜひ、屋上の開放をお願いできないかと思います。

【山森広報広聴課長】

それでは、市役所の屋上の開放につきまして総務局長からお願いします。

【宮本総務局長】

先ほど、しいのき迎賓館のお話もありましたが、21世紀美術館も建築としてもかなり有名になっていまして、写真を撮る場合、市役所の屋上がいいのではないかとということで、そのような要望が出ています。

ただ、施設設備的に安全管理上の問題がありまして、現状では難しいと思っています。今後、施設設備等の安全管理が可能であれば、今後の研究課題とさせていただきたいと思っています。

(6) 市長まとめ

【山野金沢市長】

土曜日の、もう夜8時半になりました。遅くまで本当にありがとうございました。

いろいろと聞かせていただきました。北部は南部東部に比べて金沢市は力を入れていない、ということ北部の方は思っている方が多いというお話がございました。そうであるならば、私を含めた金沢市側がきちんと意思疎通できていない、と思っています。決して、ある地域だけ力を入れて、ある地域は力を入れていないということはありませんが、そう思わせるコミュニケーションしかとれていなかったことを改めて深く反省していますし、そう思われぬまちづくりをしていくことは当然であると同時に、コミュニケーションをしっかりとって、一緒に地域をつくっていかねばと思っています。

千坂校下の方から、大変子育てをしやすいところでもっと頑張っていきたいというお言葉もありました。具体的な子育てをしやすいということも、まさに真っ最中の年齢だと思えますので、また僕らにも現場のヒントを改めて教えてほしいと思えますし、そのヒントを全市的に広げていくようにしたいとも思っています。

限られた時間でしたので十分な意見交換もできなかったかもしれません。アンケートにお答えいただければと思えますし、先ほど申し上げましたように、今日は6名の地元議員もいらっしゃいますので、議員を通して声を届けていただくということも、ぜひお願いしたいと思います。機会がありましたら、今は3つか4つの校下ずつ回っていますが、それ以外でもお声をかけていただければ、時間が合えば、これだけの人数の局長は難しい

かもしれませんが、少人数でも、場合によっては僕1人でも、日程さえ合えば喜んでお伺いして、意見交換をして、しっかりと意思疎通を図って、一緒にまちをつくっていくために努力をしていきたいと思えます。

本日は本当にありがとうございました。